

と言えそうである。

- *1) 豊島亮司・加藤泰久(1979) ELYTRA, 7(1): 18.
 (常喜: 〒606 京都市左京区北白川追分町, 京都大学理学部動物学教室内)
 (橋本: 〒655 神戸市垂水区天ノ下町12-14)
 (黒田: 〒770 徳島市春日1丁目1-31)

ヒラヤマコブハナカミキリを7月に採集

平井 勇

ヒラヤマコブハナカミキリ *Pyrotrichus bicolor* (OHBAYASHI) は、本州・四国・九州各地で散発的に記録がみられるが、東京都高尾山以外での採集数は非常に少なく、稀なカミキリの1種である。

筆者は静岡県富士山で7月に本種を採集したので報告する。

1♀, 静岡県富士宮市富士山中腹表富士周遊道駐車場, 3. VII. 1978 (飛翔中の個体)

この記録は従来報告されている本種の採集場所の環境, 時期, 季節感に比べ著しく特異なものと思われる。

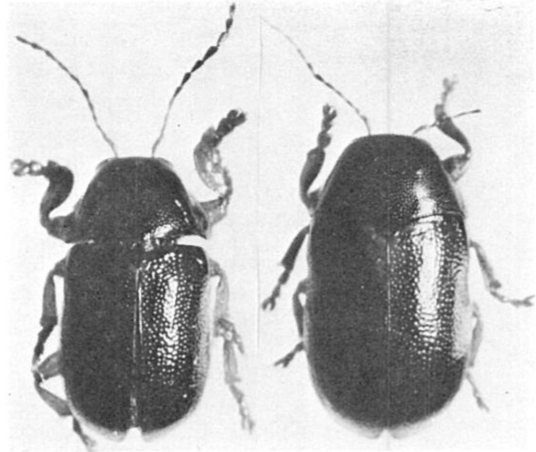
(〒336 所沢市狭山ヶ丘1-3002-11)

ツマキクロツツハムシ岡山県に産す

今坂 正一

ツマキクロツツハムシ *Cryptocephalus difformis* JACOBY は、珍しい種のように、原産地日光, 本元による阿寒国立公園(1964)および三重県鳥羽市沖菅島(1980)の3例が知られるのみである。

本種の西限記録となる岡山県産の個体を山地治氏より



ツマキクロツツハムシ (左: ♂, 右: ♀)

いただいているので記録しておきたい。

1♂1♀, 岡山市高松町, 26. IX. 1974, 山地治採集
 同地はケブカマルクビカミキリの多産地として有名であるが、岡山付近の低地に多いただのマツ山に過ぎない。従来の記録はすべて8~10月の採集例であるが、食樹が発見されれば、案外広く分布しているものなのかも知れない。

本種の体色は黒色で、足・触角基部および上翅の側縁・末端部, 小楯板周辺は黄褐色である。写真からも分かるように、♂の前脛節は幅広く広がり、*Cryptocephalus* 属の種としてはかなり特異である。

貴重な標本を恵与いただき、発表を許された山地治氏に厚く御礼申し上げる。

(〒855 島原市白土町1064)

ELYTRA Vol. 9, No. 1

昭和56年6月25日 印刷

昭和56年6月30日 発行

編集者 藤田 宏

平山 洋人

発行者 草間 慶一

発行所 日本鞘翅目学会

Japanese Society

of Coleopterology

東京都台東区東上野4-26-8

福田惣一方(☎ 110)

c/o, FUKUDA, 4-26-8,

Higashi-Ueno, Taitō-ku,

Tōkyō Japan

印刷 憐大和印刷

編集後記

今号は、益本仁雄氏が印刷費の一部を負担して下さったこともあり、Vol. 6, No. 1(1978)をしのぐ、ELYTRA はじまって以来の厚い号となりました。毎号このくらいの会誌が出せるとすごいのですが、そのためにはもっと会が大きくならなとだめなのです。身近な甲虫屋さんで、まだ本会に入っておられない方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さいますようお願いいたします。

そろそろ世代交代(?)を、ということで今回は平山洋人君にも編集を手助ってもらいました。

(1981年5月23日, 藤田 宏)